

会議結果（要旨）

会 議 名	令和2年度第2回音更町障がい福祉計画等推進委員会
開 催 日 時	令和2年10月26日（月）午後6時30分から午後7時30分まで
開 催 場 所	音更町役場3階301・302会議室
委 員 出 席 者	市野委員、鶴飼委員、内田委員、裏南委員、栗林委員、古川委員、佐々木委員、佐藤委員、白木委員、只野委員、田中委員、古谷委員、皆川委員
事 務 局 出 席 者	重松保健福祉部長、高橋福祉課長、川村障がい福祉係長
傍 聴 者 数	1人
議 題 ・ 諮 問 内 容	（1）現計画の最終評価に係る事務局案について （2）新計画の基本計画に係る作業部会案について （3）今後のスケジュールについて
会 議 資 料	別添のとおり
会 議 結 果	（1）現計画の最終評価に係る事務局案について 次回の推進委員会で最終評価案が決定されることとなる。 （2）新計画の基本計画に係る作業部会案について 作業部会案のとおり承認される。 （3）今後のスケジュールが確認される。
出された主な意見等	<p><（1）に関する主な質疑・意見></p> <p>○避難行動要支援者台帳について、町内会から個人情報の関係で同意を得られずに正確なものができていない可能性もあると考えるが、整備状況はどうなっているか。</p> <p>→要配慮者のリストを基に民生委員が対象家庭を訪問し、同意を得られた3,817人が現在登録されている。ご質問のとおり同意を得られなければ登録することができない形になっているので、3年に1回の更新時期を迎える次年度に向けて、課内で登録方法の見直しに向けた検討を行っている。</p> <p>○避難行動要支援者台帳は、高齢者の登録が増えてきているのか。</p> <p>→現在は、要配慮者が約8,000人おり、その約半分が登録されている状況にあるが、今後、高齢者が増え、それに伴い登録者数も増えてくるものと推測される。登録者数が増え過ぎて、避難時の支援が不十分な状況にはできないため、避難が困難な人から順に支援する形となるよう、現在、新たな登録方法について検討中である。</p> <p>○上記に関連して、避難時の支援を中心に行う町内会において、高齢になると脱会してしまう人がほとんどで、台帳ができて協力できる人が減ってしまう実態にあるため、その点の支援体制についても検討する必要がある。</p> <p><（2）に関する主な質疑・意見></p> <p>○これまであった本町独自の取り組みについては、今後、明確にした形で改めて提案されるのか。</p> <p>→防災対策等に力を入れていく予定であり、実施計画でその点が明確になるよう提案する。</p> <p>○事業所が増えたことにより、利用者数も増えている実態にあり、計画としては、おおむね順調に推移しているものと考えている。</p>
お 問 合 せ 先	保健福祉部福祉課障がい福祉係（内線514）